

## 適用可能範囲

空洞条件			空洞断面(mm)	施工法	吹込式	吸引式	吹込・吸引併用式 (管内吹込管併設)
新設管路 (CBOX)・ガス管路等	気密性が高い場合	坑内配管不可能	150 断面( ) < 300	片充填	30m	150m	不可
				反転充填		不可	不可
			300 断面( ) < 450	片充填	30m	150m	不可
				反転充填		不可	不可
		450 断面( ) < 800	片充填	30m	150m	不可	
			反転充填		300m	不可	
		管坑内配	800 断面( )	片充填	250m (坑内配管設置)	150m	250m
				反転充填		300m	500m
上下水道管路等	溜り水の可能性は期待できるが 気密性がある場合	坑内配管不可能	150 断面( ) < 300	片充填	30m	100m	不可
				反転充填		不可	不可
			300 断面( ) < 450	片充填	30m	100m	不可
				反転充填		不可	不可
		450 断面( ) < 800	片充填	30m	100m	不可	
			反転充填		200m	不可	
		管坑内配	800 断面( )	片充填	250m (坑内配管設置)	100m	200m
				反転充填		200m	400m
路地下空洞・用水道等	気密性が期待出来ない場合	坑内配管不可能	内径800mm相当未満	片充填	30m	不可	不可
				反転充填		不可	不可
		管坑内配	内径800mm相当以上	片充填	250m (坑内配管設置)	不可	不可
				反転充填		不可	不可

### 【 特記事項 】

上記表は、800mm未満の吹込式を除き、補助エア装置の設置を標準とする。

空洞(管路)内に溜り水が予測される場合は、充填前に事前処理されているものとする。

基本的には、溜り水や漏水がある場合は、JPG工法は施工困難(施工不適)とする。

吹込式では、坑内配管120m以上で配管内閉塞防止(短管型補助エア装置)を設置する。

800未満の吹込式の場合でも、坑内配管を設置できる場合は、50m程度は充填可能。

坑内配管(坑内吹込配管)は100mmを基本とする。

吹込式の排気側集塵機について、市街地施工の場合は吸引車の使用を推奨する。

気密性が期待出来ない場合は、地上部への噴発を抑止するため吸引車の使用を推奨する。

上記適用可能範囲表は、空洞(管路)が概ね直線で、鉛直蛇行が無い場合での、施工可能延長の目安です。

線形(屈曲)、気密性、溜り水、漏水等が予測される場合や道路使用条件に制約がある場合などは、

JPG工法協会またはJPG協会員までお問合せ願います。